

## ⑩ 魚のすめる川づくりのために

### 私たちのできること?

#### ●水をきれいにしよう

家庭の台所やお風呂、洗濯などから、流される水は、川をよごす大きな原因になっています。

生ごみや油を流さないなど、きれいな水の流れる川づくりを目指して、生活スタイルを見直しましょう。



#### ●川にゴミを捨てないで

ペットボトルやビニール袋などが、川の周辺にたくさんたまっているのを見かけます。こうしたごみは、川にすむ生物の生活をおびやかす障害物となるだけでなく、私たちのいこいの場である美しい水辺をだいなしにしてしまいます。

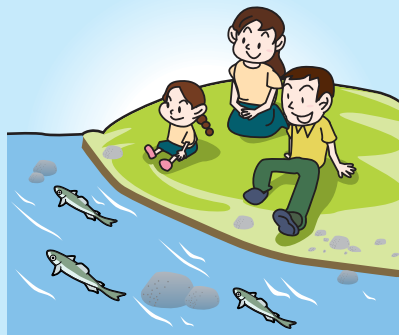
みなさんも、ゴミを持ち帰るマナーを身につけ、ゴミひろいを積極的に行いましょう。



#### ●川についてもっと知ろう

魚や水生昆虫をはじめとして、多様な生物が生息できる川は、人間にとっても心やすらぐ空間となります。

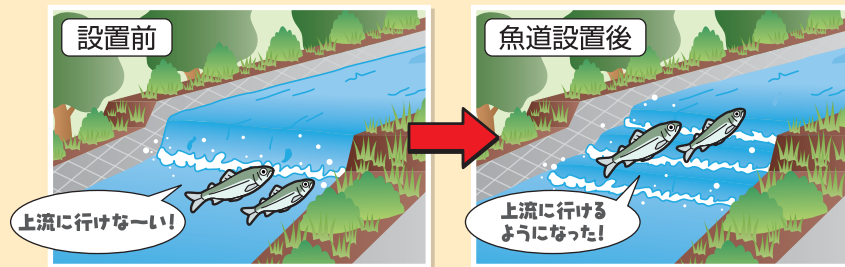
みなさんも、川的环境・生物について知り・学び、川的环境を大切にする取組を積極的に行いましょう。



## 魚道って何?

川に堰堤などがあると、魚は上流または下流へ自由に移動することができなくなってしまいます。

そこで、川に魚の通り道をつくり、移動しやすくするための施設が「魚道」です。天竜川では、船明ダムなどに魚道が設置されています。



## 魚の調査はどうやって行うの?

魚のすめる川づくりのためには、どのような魚がすんでいるか調査することが重要です。

調査では投網、たも網、かご網、さで網など、いくつかの道具を使用して魚を捕獲し、種類や個体数を記録します。なお、調査は各都道府県の「内水面漁業調整規則」にしたがい、必要に応じて特別採捕許可を受ける必要があります。



投網



たも網



かご網



さで網